

令和5年上半期分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

令和5年上半期分について、輸出は「原動機」、「科学光学機器」、などが増加したものの、「重電機器」、「電気計測機器」、「自動車の部分品」などが減少したことから対前年同期比9.6%の減少となった。また、輸入は「有機化合物」、「医薬品」などが減少したものの、「原動機」、「半導体等電子部品」、「音響・映像機器（含部品）」などが増加したことから、同1.6%の増加となった。
その結果、差引額は670億円の輸出超過となった。

区 分	輸 出 額	伸 率	輸 入 額	伸 率	差 引 額（▲は輸入超過）	伸 率
中部 空港	5,771億円	▲9.6%	5,101億円	+1.6%	670億円	▲50.8%
	5期ぶりの減少		4期連続の増加			

			概 況 品 名	金 額	伸 率				概 況 品 名	金 額	伸 率
輸 出	増加品目	(1)	原動機	264億円	+29.0%	輸 入	増加品目	(1)	原動機	986億円	+37.1%
		(2)	科学光学機器	231億円	+15.6%			(2)	半導体等電子部品	771億円	+19.6%
		(3)	半導体等製造装置	175億円	+19.8%			(3)	音響・映像機器〔含部品〕	141億円	+24.1%
	減少品目	(1)	重電機器	168億円	▲42.1%		減少品目	(1)	有機化合物	84億円	▲66.7%
		(2)	電気計測機器	414億円	▲17.5%			(2)	医薬品	540億円	▲8.9%
		(3)	自動車の部分品	202億円	▲24.6%			(3)	非金属鉱物製品	43億円	▲46.0%
	主要地域増減	アジア、EU、アメリカが減少					主要地域増減	アメリカが増加、EU、アジアは減少			

（参考）ドルレートは、139.24円（前年同期比10.5%、12.72円の円安）であった。
（注） 令和5年上半期分のドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。
注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。